

県政報告 ふるさと通信

一步前へ
未来のために



vol.2

「ふるさとは近くにありて、より強く思う」…

皆さまのご支援のもと、和歌山県発展のため、地域の代表として日々活動しています。

今号では、令和3年9月議会での一般質問（コロナ禍における観光産業の支援策等）を中心にご報告させていただきます。

和歌山県議会議員[橋本市選挙区]

中本こうせい

中本浩精プロフィール

平成23年4月 橋本市議会議員当選
平成26年3月 和歌山県議会議員橋本市選挙区補欠選挙当選
平成27年5月 総務委員会副委員長
平成28年6月 総務委員会委員長
平成29年6月 経済警察委員会委員長
平成30年4月 自由民主党県議団副議長
平成30年6月 総務委員会副委員長・監査委員

令和元年5月 自由民主党県議団幹事長
防災・国土強靭化対策特別委員会副委員長
令和2年4月 自由民主党県議団政策委員長
令和2年6月 建設委員会委員長
令和3年4月 自由民主党県議団幹事長
令和3年6月 関西広域連合議会議員
予算特別委員会副委員長
経済警察委員会委員
行政改革・基本計画等に関する特別委員会委員
議会運営委員会委員

橋本市少年軟式野球協会副会長・橋本高等学校野球部OB会副会長・少年捕手員・紀北愛蘭会名誉顧問・和歌山県宅建政治連盟顧問

質問

(1) 昨年実施したわかやまリフレッシュプランの成果と経済効果について

コロナ禍における観光産業の支援策について

令和3年9月県議会 一般質問
自由民主党県議団幹事長として追加議案提出を要望



質問

(1) 昨年実施したわかやまリフレッシュプランの成果と経済効果について

(2) 地域観光事業支援の活用について

については、昨年6月定例会においては、

「わかやまリフレッシュプラン」

答弁

商工観光労働部長

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業者が打撃を受けているが、和歌山県の主要産業である観光も大きな打撃を受けている。

昨年7月、新型コロナウイルス感染症による閉塞感からのリフレッシュを図るために、県民による県内周遊を促進する施策「わかやまリフレッシュプラン」が、約3ヶ月にわたり実施され大変好評であったが、その成果と経済効果はどのようなものであったか。

については、昨年6月定例会においては、

答弁

商工観光労働部長

旅行事業者が71社、宿泊事業者が261社の合計332社の参画のもと、延べ約142,000人の県民

が少なくなるたび他の予算を流用しながら対応していたが最終的には9月定例会において、早期議決の結果、最終8億9千万円の予算で事業を実施したもの。

旅行事業者が71社、宿泊事業者が

261社の合計332社の参画のもと、延べ約142,000人の県民

が少なくなるたび他の予算を流用しながら対応していたが最終的には9月定例会において、早期議決の結果、最終8億9千万円の予算で事業を実施したもの。

旅行事業者が71社、宿泊事業者が

261社の合計332社の参画のもと、延べ約142,000人の県民

が少なくなるたび他の予算を流用しながら対応していたが最終的には9月定例会において、早期議決の結果、最終8億9千万円の予算で事業を実施したもの。

旅行事業者が71社、宿泊事業者が

261社の合計332社の参画のもと、延べ約142,000人の県民

が少なくなるたび他の予算を流用ながら対応していたが最終的には9月定例会において、早期議決の結果、最終8億9千万円の予算で事業を実施したもの。

旅行事業者が71社、宿泊事業者が

261社の合計332社の参画のもと、延べ約142,000人の県民

が少なくなるたび他の予算を流用ながら対応していたが最終的には9月定例会において、早期議決の結果、最終8億9千万円の予算で事業を実施したもの。